

東北大学医学部の 対面型試験の実施について

令和2年7月31日

東北大学医学部医学科 学科長 石井直人

背景：医学部における対面式試験の重要性

- ・**医師国家試験(6年次2月)**

合格率92.1%・・・受かるのが当然の試験

- ・**共用試験Computer-Based-Test(CBT:4年次)**

全国医学部共通テスト：合格が臨床実習参加(進級)の必須条件

※医学部の試験では、腕時計やスマホなどの電子機器を身につけているだけで不正行為とみなされる。試験会場に金属探知機を設置している大学もある

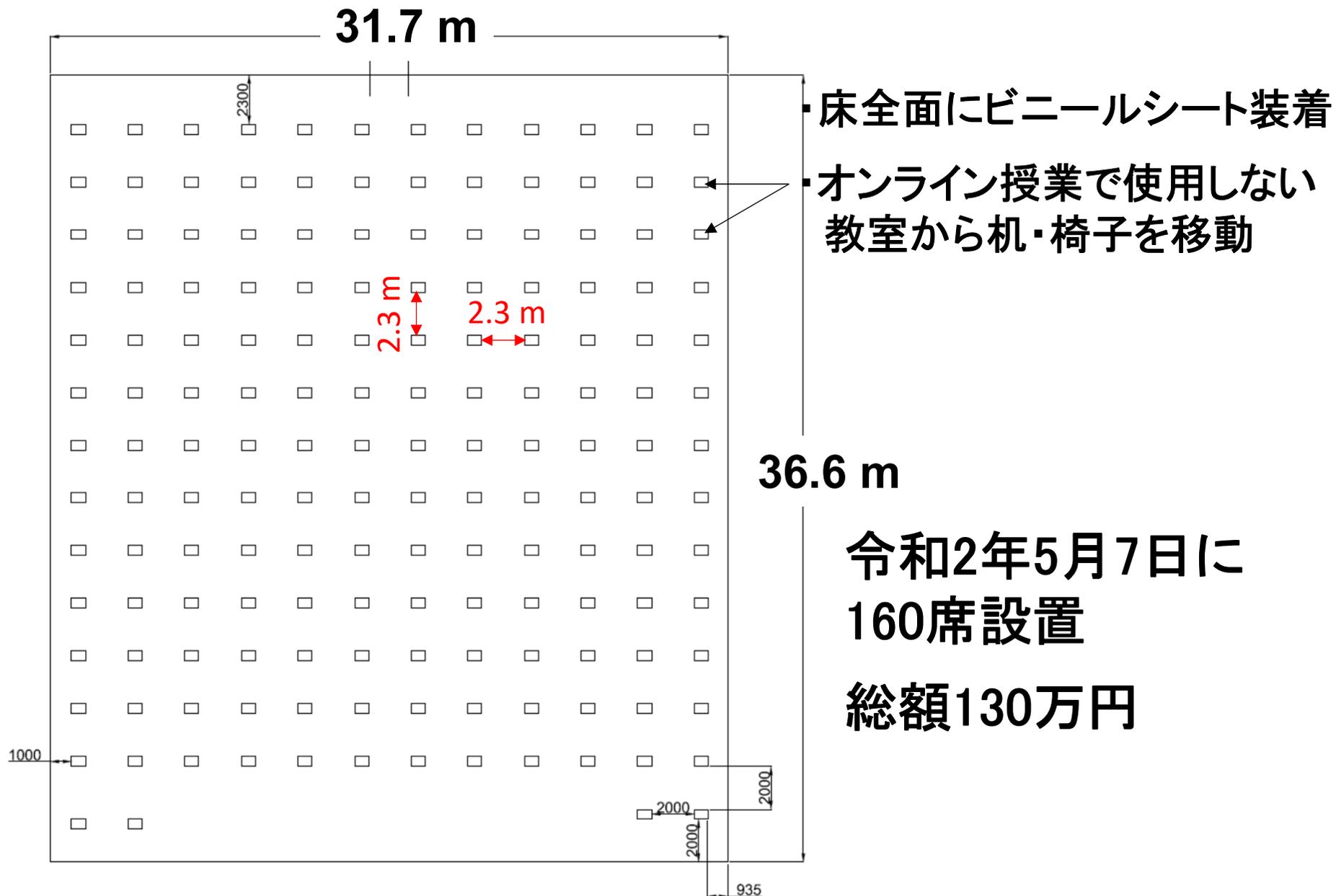
⇒ **対面試験による学力評価と評価のフィードバックが必須**

医学科4年生(140名)の試験日程(当初)

4月 6日	呼吸器
4月20日	循環器
5月18日	血液・免疫・アレルギー・感染症
6月 1日	麻酔・救急・輸血・放射線
6月15日	消化器
6月29日	内分泌・糖尿・代謝・腎・泌尿器
7月13日	生殖・女性
7月27日	感覚器・皮膚
8月24日	運動器・形成
9月 7日	臨床腫瘍・臨床薬理
9月28日	精神・心理・行動
10月 5日	脳・神経
10月19日	小児・遺伝・加齢・老年
10月30日	社会医学

1学年で
2週に1回の試験

医学部体育館での試験実施(計画)



入室時の検温



体育館での試験実施



窓・扉全開

2.3 m

2.3 m

試験中はマスク着脱自由

その他の感染防止対策

背景: キャンパス内に東北大学病院(1,225床)があり、その院内感染を防止する必要がある。

- 1) 試験日から2週以内に感染拡大地域に滞在した者は欠席すること
- 2) 体調不良者は欠席すること
※体調不良: 発熱、咽頭痛、咳、鼻汁、呼吸困難、倦怠感、下痢、味覚嗅覚異常など
※1)2)で欠席した者は追試験の対象
- 3) 自身/同居家族が基礎疾患を持っているなど、特段の懸念事項がある場合には別室受験を認める
- 4) 3グループに分かれて指定された時刻に入室すること
- 5) マスク装着必須
- 6) 入室時の検温と手指消毒の徹底

利 点

- 従来型の学力評価が可能
- 感染防止
 - ・Social distance
 - ・十分な換気

問 題 点

- 温度管理が困難： 熱中症の懸念
- 試験担当者の増員
- 感染リスク： 140人を集合させること
- 参加できない学生への個別対応
- 体育館が使用できない： 部活動の停止